

1 神代(くましる)天満宮
祭神は菅原道真で、明暦3年(1657年)建立。菅公が水田の里から北野への帰途、この地で沐浴したので身浴びの天満宮ともいい、村民が当地の産神とした。

2 久留米城址
江戸時代の久留米藩主、有馬氏が250年間11代居城とした。城跡は県指定文化財で、初代藩主有馬豊氏を祀る篠山神社や、有馬家歴代藩主の武具や資料を展示する有馬記念館がある。

3 高良大社
久留米市の高良山にある筑後の一の宮。履中天皇元年(400年)の創建といわれ、神殿は国指定重要文化財。厄払い・厄除け開運・延命長寿・交通安全・芸能等の神として、筑後・肥前に篤い信仰圏がある。

4 府中宿
筑後川を船渡し(現在は「神代橋」)で「神代」へ渡り、そのまま進むと府中宿。当時の本陣は現在の「御井小学校」にあり、御井町の商店街が府中宿の中心部だった。

5 陸上自衛隊久留米駐屯地
第4特科連隊等が駐屯する。最寄りの演習場は高良台演習場と藤山射撃場で、至近距離に陸上自衛隊幹部候補生学校の所在する前川原駐屯地がある。

6 浦山古墳
5世紀の古墳時代に造られた前方後円墳で、国指定文化財。石棺内部に円文・直弧文・鍵手文の宮線刻がある。成田山本堂で鍵と懐中電燈を借りて見学できる。

7 石人山古墳
一条南口から東へ約1.5kmの左側低丘陵地に所在。国指定文化財の前方後円墳で八女古墳群中、岩戸山古墳と共に最も重要とされる。古墳前にある武装石人も昭和51年、国指定文化財となった。

8 赤坂はげ並木
北原白秋の詩にもある。筑後のハゼの実ちぎりは昔から有名。参勤交代の道路は秋になると一面の紅葉で彩られることであろうと偲ばれる。

9 種田山頭火歌碑
山頭火は昭和5年12月に羽犬塚宿に宿泊したと「行乞記」に記している。市内には5基の歌碑が建立されている。

10 坂東寺
筑後地方で最も古いとされる石造五重の塔。鎌倉時代貞永元年(1232年)に造られた。高さ246センチで、最上部に宝珠形の石を乗せ、塔身には密教の教え五大(空風火水地)と、種子の四転(発心、修行、菩提、涅槃)を示す梵字が刻られている。

11 宗岳寺
浄土真宗西派。慶応元年(1596年)善導寺の僧久伝が開基。当寺の薬師如来座像は藤原期以前に製作されたもので、他に類例のない貴重なもの。境内に羽犬の伝説の五重の塔が建立されている。

12 秋葉神社
久留米藩主7代有馬頼種(よりゆき)が久留米城内の秋葉神社を勧請し、創建した。秋葉神社は日本全国に点在し、神社本庁傘下だけで約400社ある。

13 羽犬塚宿(本陣)
御茶屋(本陣)は、現在の羽犬塚小学校敷地にあった。街道から引き込んだ所に約1000坪の敷地を有し、豪壮な門構えに唐風回りの玄関。式台に駕籠が横付けされ、貴賓客はそのまま最上の間に案内された。大名行列は、布団・食器・食膳・漬け物桶・便器などを一切携行し、食事は随行した膳部係により調理された。



14 六所宮(六所神社)
承平年間(931~938年)熊野坂東寺より勧請。羽犬塚町・秋松村・徳久村の鎮守神社。祭神は天照大神・住吉大神・霧島権現・高良大神・意比須神・春日大明神の六柱なので六所宮の名がある。御神体は木造。

15 溝口(かまえぐち)・枅形
「溝口」は、城下町や宿場町の防衛・検査の目的で、駅の出入り口の両側に堅固な石壁を築きその上に櫓を構えた番所のこと。羽犬塚宿にも北は宗岳寺付近、南は山ノ井川の南藤島に設けられていた。「枅形」は、別称かぎ形。溝口の内側にあり、道を90度に折り、さらにまた折って、人馬の突進を防ぐ警備上の道路普請。北は宗岳寺付近に12mのカギ型、南は現在の法務局前に50mの長さのカギ形で、南の警備を重視したとみられる。



16 藤島の一里塚
慶長9年(1604年)柳川藩主田中吉政が柳川を中心にした街道筋に一里塚を設置し、榎等の大木を植えて旅人の道程の目安と休息の場所とした。

17 白滝神社・玉鶴霊社
白滝神社は平家堂とも呼ばれる。文治元年(1185年)源氏軍の追討を受けて多数の戦死者を出した平家の残党の慰霊のため建立。玉鶴霊社は平家の落ち武者の妻で、自ら命を断った玉姫を祀ったもの。

18 花宗川・二本松郷場跡
藩政中期以降、ここから年貢米を送り出した。搬送用の船を、2本あった松の木に繋いだためにこの名がある。

19 上妻・下妻郡境石
薩摩街道と水田経由の柳川往還との分岐点、二本松道に分る。

20 水田天満宮
鎌倉時代の嘉禄2年(1226年)に菅原長者大蔵卿為長朝臣が建立。御本殿は福岡県有形文化財。太宰府に次ぐ九州2大天満宮として人々の信仰が篤い。境内奥に縁結びの神様、恋木神社があり、クリスマス・大晦日・正月などに若い男女で賑わう。



21 宗清寺
治承4年(1177年)平宗清(宗盛)が開基。宗清は、幼い源頼朝を京都六波羅まで慈悲を持って護送した人物。

22 裏山遺跡
尾島集落の西側の山林付近で昭和29年に発見された、5000年以前の住居遺跡。東西250m、南北75mの小大地の上に100戸以上の住居が存在していた。

23 市(一)の塚
尾島中央部の西側にある、高い五重塔。明治28年(1895年)平家の残党を祀った塚の跡に、村民によって建立された。

24 興満寺
真宗大谷派の寺。延宝2年の尾島の町づくりの際に下妻郡常川村から移転建立された。連歌師浅山小次郎の墓がある。

25 光明寺・石造九重塔
真言宗大覚寺派天平年間(729年)に僧行基により開基。筑後市22寺で最古の寺で、往古は西の高野山といわれた古刹。3.3mの石造花崗九重塔は県指定石造文化財。鎌倉時代の作品といわれる。

26 秋津島浪右衛門供養塔
秋津島は本名を村上浪右衛門といい、元禄10年(1697年)に現在の津島東に生まれた。19才で相撲力士となるため江戸に上がり、精進努力の結果天下第一の名人と称せられた。身長6尺1寸8分、体重36貫の偉丈夫で、20年間土俵を努めた。

27 船小屋温泉郷
清流矢部川ぞいの田園情緒あふれる川畔のいで湯。炭酸含有量は日本一といわれる。浴用として、心臓病、貧血症に、飲用としては、胃腸病に効果があるとされる。



28 今寺番所(関所)
柳川藩との国境に設置された殺留番所(関所)で、国境警備、米穀・麦類の密輸出、不法入出国を取締った。藩籍奉還の明治2年(1868年)に廃止された。

29 中ノ島公園
清流矢部川の中ノ島に約300年を経た大樟が数百本も繁り、夏を知らぬ涼風が吹き抜ける。公園は憩いの場所として整備され、川での子供の水浴びは夏の風物詩。また、ここから見る夕陽は日本有数。

30 権現塚
大化の改新以前のものである円墳で、神功皇后や卑弥呼と関わる説もある。

31 清水寺本坊庭園
室町時代の画僧雪舟の作と伝えられる。前方の愛宕山を借景として取り入れている。心池を中心に、自然と人工の美が見事に調和され、四季折々の風景はもちろん、中秋の名月は池に映え幽玄の世界へと誘う。

32 平家の塔
文治元年(1185年)、壇の浦から落ち延びた平氏は要川に背水の陣を敷き、最後の源平合戦を挑んだがあえなく敗れた。この時建てられた供養五輪の塔の残欠が3基残り、地元篤志家により祀られている。

33 石神山古墳
武装石人1体を伴う全長55mの前方後円墳で国指定史跡。5世紀ごろのもので、3石棺の直葬という珍しい類型を示す。

34 矩手水門
文化年間の柳川藩営の干拓事業で建設されたものを、明治31年に改修。吐口には両袖壁の倒伏を防ぐための全半円型眼鏡橋が設けられている。赤レンガが美しい。

菅原道真、源平の軍、高僧、太閤秀吉、参勤交代、幕府目付、篤姫、明治政府軍など 日本の歴史そのものが通り過ぎ 多くの文化・文明が筑後の地にもたらされた。

